

## 進学費用などを町がサポート 町育英奨学生 hopefuls を募集します

「進学費用が気になって希望の進路はあきらめなきゃ...」。今、学生の皆さんに何より必要としてほしいのは、新しい道にチャレンジする強い意思です。本町では、経済的理由により修学が困難な生徒に対して、人材育成を目的とした奨学金を貸与しています。上手に活用して、あなたの進路選択に役立ててください。

### 奨学生の資格

- 次の条件すべてに適合する生徒を対象とします。
- ①保護者が川根本町に居住している者
  - ②学業・心身ともに優良と認められる者
  - ③学資の支弁が困難と認められる者
  - ④高等学校、大学またはこれと同等程度の学校に在学・進学するもの

### 奨学生の願出

奨学金貸与を希望する者

望む場合は、在学する学校長の推薦を受け、次の書類を提出してください。

- ①奨学生願書
- ②奨学生推薦書
- ③医師の健康診断書
- ④他の奨学金の給付または貸与を受けている者および受ける予定がある者はその調書

※奨学生は、別に定める選考委員会の選考を経て決定します。

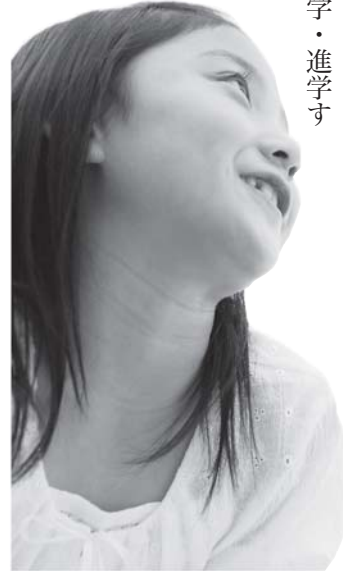
奨学金の額 月額1万円以内

### 返済期限

最終学校を卒業後5年以内

募集締切 2月28日

詳細については、教育総務課までお問い合わせください。



## 茶業などに関する5項目について 農業委員会が町に対し要望書を提出

本町農業委員会の小林基会長と中野暉職務代理者は12月21日、役場本庁を訪問し、佐藤町長に対して平成23年度の農業施策などについて要望しました。今回要望した内容は①担い手および後継者の育成確保対策に

ついて②基盤整備の実施③防霜ファンの更新に対する支援④耕作放棄地と鳥獣害に対する支援⑤新たな市場などの開拓に対する予算措置の5項目についてです。



佐藤町長に要望書を手渡す小林基会長(写真中央)と中野暉職務代理者(左)

小林基会長は、茶価の低迷によって担い手や後継者の確保が難しくなっている本町の現状、昨年3月末に発生した凍霜害によって再認識された防霜ファンの重要性、耕作放棄地が増加している現状、新たな川根茶の市場開拓の必要性などについて訴え、新たな農業振興施策の実行を要望しました。佐藤町長は「要望事項を重く受け止め、前向きに考えたい」と答えました。

町では、情報通信基盤整備事業(光ファイバ網整備事業)を円滑に推進するため、川根本町情報通信基盤整備事業推進検討委員会(望月静馬委員長・以下委員会)を設置。第1回委員会を12月22日、第2回委員会を1月14日に開催しました。

この委員会では、超高速ブロードバンドの活用や、整備方法、提供するサービスの内容などについて検討をしていきます。また、「総務省『光の道』構想」や「3・9世代携帯電話」



第1回推進委員会開催の様子

などについて、有識者や事業者による説明を聞きながら、情報の共有を図っていきます。町では、委員会での検討結果を議会や住民の皆さんに報告、公表することで、今後の議論につなげ、この町にとって「最適な事業計画」を策定したいと考えています。

### 【第1・2回委員会の概要】

第1回委員会では、総務省東海総合通信局の松山和馬情報通信振興課長から、ICT(情報通信技術)活用によって進める地域活性化や「光の道」構想実現に向けた説明、県情報政策課樋口博課長から、静岡県の地域情報化の推進施策について説明を受けました。

第2回委員会では、ドコモが提供するLTEサービス、光通信網で実現するパナソニックの次世代双方向サービスなどの説明を受け、今後の議論の中心となる「利活用」について活発に意見を交わしました。

## 情報通信基盤整備事業推進検討委を設置 住民生活の向上目指し検討を重ねる

本町は平成21年度に「川根本町健やかウォーキングカード」を制作しました。どなたでも個々の目標歩数・距離・時間などを地区の保健委員に申告してカードの交付を受けることができます。地域の健康づくりリーダーである保健委員にとっても地域住民の皆さんと身近に触れ合うこと



ができる新たな活動の一つとなっています。

一枚のカードには60日分の歩行記録ができ、3枚(180日分)のカードがいつぱいになった人を「健やかウォーキング実践者」として紹介します(掲載の同意が得られた人のみ)。

平成23年1月号に掲載した特集「わたしらしく」で紹介された桑野山の柚本金一さんは、健やかウォーキングカード記録3枚達成者第1号です。その後、町内の保健委員から、続々と実践者の報告が届いています。

朝夕に、家族や仲間と一緒にウォーキングしている人を多く見かけます。まだ「健やかウォーキングカード」の交付を受けていない人は、地区の保健委員が生活健康課健康室・住民生活室まで申し出てください。

## 実践(達成)者の報告が続々届いています 健やかウォーキングカード達成者を紹介

地区	実践者	目標歩数(一日当たり)	180日間合計歩数	保健委員
桑野山	柚本 金一	5,000~7,000歩	865,500歩	中村 晴江
久保尾	西村喜代司	10,000歩	1,161,452歩	水口富佐江
久保尾	西村 静子	10,000歩	1,071,489歩	水口富佐江
久保尾	水口 眞夫	10,000歩	2,245,569歩	水口富佐江
久保尾	水口富佐江	13,000歩	2,953,644歩	水口富佐江
接 岨	筑地 順子	3,000歩	506,050歩	大石 文江